

韓国 Inje 大学での PBL 実習を振り返って

1MD09099W 森永 哲成

私は 2 月 26 日から 3 月 3 日までのおよそ一週間、韓国の釜山にある Inje 大学を訪れ韓国人学生とともに PBL などの実習を行いました。Inje 大学は医学部のキャンパスが比較的都心にあり、2 年間教養を郊外の教養学部で学んだ後に医学部に入学するというシステムで、今回の実習は医学部の 2 年生(日本でいう 4 年生)と共に行いました。学年は 1 つ上でしたが韓国の新学年は 2 月から始まるということもあり、同世代の人たちと交流することができました。

今回の訪問では PBL 実習と Skills Lab の 2 つを学生とともに行いました。

①PBL 実習

午前中にチューターを交えた Discussion を行い、午後は学生のみで Discussion を行うという形式を 3 日間行い、最終日に全体で集まり各班の結論をプレゼンするという日程でした。

私にとって PBL 実習は今回が初体験でありどのように行うのか段取りが全く分からず、その上英語で行うということもあって初日はうまくいくのか非常に不安で緊張しました。案の定 Discussion は英語の専門用語が飛び交い日本語で授業を受け日本語でしか勉強していない私にとって参加することさえも難しいものでした。しかし同じチームのメンバーは私の拙い英語にも真摯に耳を傾けて、言わんとしていることをくみ取ってくれたので、おかげで私でも議論に参加することができました。韓国では医学の授業が英語で行われているので学生の専門用語の語彙が豊富で、国際化が進む今日改めて英語の重要性を認識させられました。

今回の実習で最も印象的だったのが、SP と呼ばれる模擬患者が登場し実際に学生が問診しながら PBL を行う mini problem というものが 2 日目にあり、問診は韓国語でしたが互いに話し合いながらどのように問診し、患者から情報を得ていくのかを試行錯誤しながら進めていくことは、とても新鮮で刺激的でした。加えて mini problem はメインの症例に類似した症例であり、誘導となることでより考えやすくなるように設定されていたように思えました。

この PBL 実習で私は、日本で今年 1 年間やって来た臨床の授業はほとんどが疾病⇒所見というベクトルで物事を捉え覚えてきましたが、PBL で必要な能力は疾病⇄所見という両方向のベクトルで見る必要があり、実際の臨床の現場でも後者の能力が必要とされているので、今後の授業の受け方や勉強の仕方を改善してより体系的な知



識を身につけていく必要性を強く感じました。

②Skills Lab

臨床における実技的な能力を体験し身につけるために行われるもので、私たちが一緒に行ったのは尿道カテーテルの実習でした。最初に簡単にカテーテルについての説明が韓国語でありましたが、外国人である私たちが参加していたため学生が先生の説明を英語に同時通訳してくれて、感謝と同時に私たちと同じ年代の人がこのようなことができるという事実に驚愕しました。

次に実習室に移動し模型を用いてカテーテルを挿入する実習を行いました。ここで用いられたカテーテルは学生実習用ではなく実際に臨床の現場で用いられているものを使い、手袋や鉗子を用いるなどかなり臨床に近い実習であったように感じました。このような実習は今までに体験したことがなく、非常に新鮮で興味深いものでした。

③その他

私たちが訪問した週には今年医学部に入学する学生たちの歓迎オリエンテーションが海雲台であり、私たちも Inje 大学の理事長先生や医学部長先生に挨拶をするためにそのオリエンテーションに参加しました。またその日の午前中は Inje 大学の付属病院の中で最も新しい海雲台白病院を見学させていただきました。非常にきれいでしたがスタッフ不足等の原因でまだ運用されていない病室もあり、発展途上の病院であるように感じました。

韓国での生活は同じ PBL のチームメイトやクラスメイトが非常によくしてくれ、昼食や夕食は全て彼らと一緒にとり韓国の食事やお酒を堪能することができました。滞在中、私たちは大学内にあるゲストルームに宿泊しましたが環境が非常に良くゆっくり休むことができる環境で、まるでホテルのような部屋に宿泊させていただきました。

わずか1週間という何かを学ぶには短すぎるような期間でしたが、私の中では忘れられない経験でありこれからの人生に影響を与えた1週間だったように感じます。最後にこのような刺激的で充実した1週間を支えてくださった康先生、韓国で私たちを厚くもてなして下さりお世話をしてくださった石先生をはじめとする先生方、経済的な支援をいただいた同窓会の皆様、この訪問でお世話になった全ての方にこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。